

『時事直言』 No.1580 2022年11月25日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[mail] info@chokugen.com

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](https://www.youtube.com/channel/UC...)



時事評論家 増田俊男

形式的日本と実際の日本

日本は丁度台湾の逆である。

台湾は形式的には中国の一部で国連に加盟していないが実際には独立国である。

日本は 1951 年サンフランシスコ平和条約で GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)から主権が戻り国連に加盟、日本国憲法下で「戦後の民主主義の優等生」になった。

今までの「増田塾」の講義で解説した通り日本国憲法は GHQ 総司令官であるマッカーサーが自分の任務である日本統治と日本に主権が戻った後もアメリカの対日支配を続けることを目的に作られたものである。

いわば現日本国憲法はアメリカの主権の下に日本をアメリカに隷属させる目的で作られた対日植民地憲法である。

二言目には憲法を持ち出して主義主張をする者は結果アメリカの利益に奉仕していることを知らない。

世界の歴史に例のない万世一系の天皇の下に 2000 年の長きに伝わってきた名誉と誇りは今日まで 77 年間事実上アメリカの統治下に置かれている日本には存在しない。

第二次大戦後アジア、アフリカ、南米の植民地が次々に独立する中で日本は事実上アメリカの植民地になった。

マッカーサーが、他の連合国が主張する天皇の戦争責任を押さえて天皇制を維持したのは日本統治に天皇が必要であったからである。

私は毎週土曜日午前 7 時からラヂオもりおかで「美しい国、日本の為に」の題で一部、二部計 30 分の放送をしている。(<http://radiomorioka.co.jp/streaming/>)

10 月まで 23 年間以上月曜から金曜までの 10 分間の生放送であったがこれからは 30 分なので相当突っ込んだ話が出る。

「日米安保は日本の要」などと根拠もないのに信じているようでは日本の独立は程遠い。

「美しい日本」とは思想的、政治的、経済的にアメリカの属国になっている日本ではない。

天皇の国、日本を取り戻すことである。

安倍元首相は「日本を取り戻す」をスローガンにしていた。

今やっと自主防衛、自主外交を取り戻すチャンスが日本に訪れた。

それは宗主国アメリカが衰退してきたからである。

戦後アジア諸国が宗主国の衰退により独立出来たように、日本も又アメリカの衰退で独立の機会がやってきた。

2023 年は世界大変化の年である。

私の口癖、「変化を儲けにしないでどうする」を 12 月早々から始まる「インターネット目からウロコの増田塾」でとくと指南することになっている。

世界の変化をも儲けにしないでどうする。

小冊子 Vol. 130 は 12 月から始まる「増田塾」の教科書としても使うので、受講生は必ず用意して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。